

令和 2 年（2020 年） 月 日

越谷市総合振興計画審議会

会 長 石崎 一宏 様

生涯学習部会

部会長 中村 譲二

### 生涯学習部会審議結果について（報告）

生涯学習部会は、第 5 次越谷市総合振興計画前期基本計画（素案）第 4 章・分野別計画のうち、大綱 6 「みんなが主体的に学び、生きがいを持って活躍できるまちづくり」について、慎重に審議した結果、概ね妥当であると判断し、下記のとおり主な意見をまとめ、報告いたします。

また、当部会で出された意見につきまして、別紙一覧のとおり併せて報告いたします。

### 記

- 1 小中一貫型小中学校の整備に関して、対象校の拡充を含め、積極的な推進に取り組むこと。

幼児期から学齢期への移行に関して、情報技術の活用などにより教育の連続性を確保し、教育の底上げに取り組むこと。また、すべての子どもたちを虐待から守るため、情報技術を活用するなどして、継続的に子どもたちを見守る体制の整備に取り組むこと。

- 2 市民の生涯にわたる学びに関して、市の歴史資料を収集し、一括展示する施設の整備に取り組むこと。

3 スポーツ・レクリエーション活動の推進に関して、幅広い世代の市民に対し、スポーツ観戦機会の充実などによりスポーツに対する興味・関心を喚起し、地域と連携しながらスポーツ・レクリエーション活動に親しむ人口の増加を図ること。

市民の健康増進に関して、ウォーキングなどの生涯スポーツに取り組む機会のさらなる拡充を図ること。

スポーツ・レクリエーション活動を支援する環境の充実に関して、市民が安全、快適にスポーツ・レクリエーション活動に親しめるよう、体育施設の適正な維持・管理、必要に応じた改修に取り組むこと。

以 上

No.	大項目	中項目	頁	意見
1	6-1	611	119	「小中一貫型小中学校の整備校数」の目標値をもう少し増やしてほしい。
2	6-1			教育の連続性という意味では幼児教育も含めた0歳からの教育の底上げが必要である。ITを活用するなど子ども1人ひとりを0歳から追えるような一貫的な教育というものを計画書に盛り込むべき。
3	6-1			虐待の早期発見のため、乳幼児期を含め、切れ目なく見守っていくことが重要である。
4	6-1	614	120	614「健やかな体を育む」に関連して、子どもたちの体力向上のため、部活動を活用してはどうか。また、計画書にもそのような記載をすべき。
5	6-1		118	課題の3つ目2行目に「安心安全で快適な学校環境の整備」とあるが、市の将来像などと同じ「安全・安心」に統一してはどうか。
6	6-1	616	121	616「質の高い教育環境を整備する」の中に地域とのつながりという視点がない。
7	6-2		124 125	「市が主催する各種学級・講座の参加者数」及び「生涯学習関係団体と連携した事業数」について、目標値が5年間の累計となっているが、表記がわかりにくい。
8	6-2	622	126	収集した歴史資料などを展示する施設の設置について、この計画書に盛り込むべき。そうしたものも含めて、系統立てて市民に見せるという方向性を大綱6の中に示すべき。
9	6-2			小さな子どもたちが成長した先に目指したい大人の姿を6-2に盛り込めないか。例えば、子どもが目指している職業を実際に行っている大人に出会えるとか、子どもが将来の夢に近づくための勉強ができる場などを生涯学習に入れられないか。
10	6-3	631	129	プロスポーツを観戦する目的がその先にあるということ、これからのスポーツ人口を増やすこと、世代を広げることへの市の意気込みを、計画書に入れてほしい。
11	6-3	631	129	プロスポーツ選手を育成することよりも、生涯スポーツの前提は「歩けること」なので、まずはウォーキングに特化した施策を推進すべき。
12	6-3	632	129	体育施設について、適切な維持管理、改修を行い、市民が生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しめる環境を整備すべき。